

琵琶湖南湖へのワタカ種苗放流結果

根本 守仁

◆背景・目的

琵琶湖固有種であるワタカは、その食性から水草大量繁茂の抑制に効果があることが明らかとなっているが、その資源は著しく減少しており、早急な資源回復が望まれている。

ワタカの種苗放流は、「生態系修復対策事業」で平成14年度から西の湖で実施されてきているが、本年度からはそれに加え新たな放流水域として琵琶湖南湖を対象に、15万尾の種苗生産を、種苗生産技術の開発と平行して実施した。

◆成果の内容・特徴

- ・採卵は、自然産卵または人工採卵により行い、平成17年6月24日から8月16日までで、合計795,600尾のふ化仔魚を得て、種苗生産を行った。
- ・ふ化から40日間の初期種苗生産については、①従来の施肥培養による飼育、②ほっとけ飼育、③従来の施肥培養＋適宜クロレラを添加して飼育、による生産方法を実施した。①では飼育期間中の生残率が23.6%であったのに対し、②では35.1%、③では45.1%であり、生残率が向上した。また、「生態系修復対策事業」で生産した種苗についても②と③による飼育を実施したが、生残率はそれぞれ80.7%および69.7%であり、新たな飼育方法により生残率が大幅に向上できた。
- ・放流結果の詳細は下表に示したとおりであるが、平均体重0.44g～1.76gの種苗159,100尾を南湖3水域へ放流した。なお、112,800尾についてはALC標識を施して放流した。

◆成果の活用・留意点

ほっとけ飼育等、新たな飼育法法を実施することにより大幅な生残率の向上が図られたことから、今後はさらに詳細な条件設定に向けた試験を実施したい。

表 ワタカ種苗放流結果

No.	放流月日	放流水域	尾数(尾)	重量(kg)	平均体重(g)	標識
1	3月22日	草津市北山田町地先	25,800	45.55	1.764	
2	3月23日	草津市下寺町地先	11,100	5.19	0.436	ALC(dot)
3	3月23日	守山市木浜町地先	8,600	3.99	0.436	ALC(dot)
4	3月23日	草津市下寺町地先	19,300	13.96	0.723	ALC(リング)
5	3月23日	守山市木浜町地先	19,500	14.08	0.723	ALC(リング)
6	3月23日	草津市下寺町地先	27,700	20.72	0.749	ALC(リング)
7	3月23日	守山市木浜町地先	26,600	19.97	0.749	ALC(リング)
8	3月27日	守山市木浜町地先	20,500	20.48	1.001	
合計			159,100	143.94		